

問 質の高い給食の提供について

答 物価高騰の影響を精査する

問 給食の過去4年間の1日当たりの品数を調査したところ、年々減少傾向であることが分かった。物価高騰の折、なんとか保護者の負担が増えないように給食費を金額据え置きでやりくりしているのではないか。給食の質を確保するためにも、学校給食事業の中で賄い材料費の村負担分の増額や、給食費そのものの増額が必要であると考えが見解を伺う。

答 食材費の値上がりは相次いでおり、学校給食の運営は一段と厳しい状況。今後この



みやもと しやうた 議員
宮本 翔太



自校式による出来たての温かい給食

傾向は続くものと予想されることから、賄い材料費の村負担分については、物価高騰による献立への影響を精査し、必要な予算措置を講じたい。一方で、給食費の増額については、昨今の物価高騰により、家庭の負担も増す状況のため、増額を実施する予定はない。村の公費負担において質を落とすことなく、栄養バランスの取れた学校給食の提供に努めていく。

問 消防団の管轄区割りの見直しは

答 地域連携の観点から検討を進める

問 消防団の位置付けや重要性、期待される役割、近年の活動実績はいかに。

答 消防団員は、非常勤特別職の地方公務員の身分を有し、火災発生時には消防本部と連携し、初期消火活動や残火処理活動を行う。また、災害時には、巡視や土のう積みなどの被害拡大防止活動にも従事、活躍している。先日村内で発生した火災では、迅速に臨場し、公設消防の後方支援、鎮火後の現場確認などを行っており、地域の安全・安心のため、重要な役割を担っている



新政とうかい
かわさき かつひこ 議員
川崎 克彦



消防団車両と令和5年度に完成した第1分団庫車

と認識している。

問 管轄区割り見直しの見解はいかに。

答 7つの分団に編成されていること、分団ごとに定員数が異なることに疑問が生じるものと考えており、管轄区割りを小学校区と同様にすることで地域との連携強化や消防団活動への理解促進も考えられ、担い手不足の解消にも期待できる。将来的な管轄区割りの見直しに向け、各分団や関係者と協議を進める。